

会計報告

昭和62年4月～昭和63年3月末までの会計収支決算は、下記の通りとなりましたので、皆様に御報告いたします。

収入金額	支出金額
繰越金	卒業記念品
4,452,305	32,000
同窓会費(保18・生4)	卒業名簿印刷
950,000	80,000
利息	送料・振込料
1,694	1,300
同窓会費(過年度率)	会報(印刷・郵便料)
227,000	332,442
バザー売り上げ金	総会経費
39,840	3,075
	バザー経費
	20,938
	その他(領収書)
	130
(イ) 計	(ロ) 計
5,670,839	469,885
収支差引時期繰越金 ￥5,200,954 (イーロ)	

昭和六十二年四月～昭和六十三年三月までの同窓会費収支決算は上記のとおり承認されました。ご不明な点がありましたら、会計の方までご連絡下さい。

昭和六十二年年度総会議題において、いまだ未納となつています同窓会終身会費の件は、今後も會員の皆様一人々に納入のお願いをすることに意見が一致いたしました。皆様の暖かいご協力を期待してあります。

今年度も個々に未納額をお知らせ致します。郵便振替にて納入をお願いいたします。

振替用紙には必ず會員番号を書き入れて下さい。(會員番号は封筒の表面下に記載してあります)

昨年十一月に同窓会バザーを開催し、三回目を迎え同窓生多数の御協力をいただき、沢山の手作り品が集まりました。

今回は「お姉さんの店」としてロビーで、華々しく行ないました。日曜日だったせいもあり、子供連れの人が多くおとすれました。

作品は、子供服・エプロン・袋物・紙ねんどで作った置物など、素晴らしい作品の数々、なかでも袋物に人気があり、まとめて、いくつも買って下さる方もいました。売り上げは総額約四万円で利益は前回同様、約二万円になりました。



「お姉さんの店」店頭にて

市原真弓 佐藤弘美

この夏、転勤で横浜から関西に移り住んだ友人と、三年振りに旧交を温める機会を得た。開口一番「北海道の女はイイ」。北海道で生まれ育った私達にしてみれば、「北海道の女」「日本の女」と意識なんぞする機会もなく、ただただ普通の女として過ごしてきただけに、この突然の発言に少々面喰ってしまった。

古い話で恐縮ではあるが、以前、朝日新聞の中で「北の女」という特集が組まれ、都会育ちの記者が色々な角度から北海道の女性を

水芭蕉

捉え、話題になった。大らかさが大雑把になり、自立心旺盛で自由で生き生きしているが、協調心がけじめがなくモラルに欠けるとな



総会・懇親会風景

62年度総会は11月1日(日)、文大祭期間中に開かれました。初めに、下沢会長より挨拶があり、「同窓会の活動は難しいが、小さな輪でも続けることにより、少しずつ大きくしていきたい。協力をお願いします。」とお話がありました。

議題
一、会報について
発行時期については何度も問題にされてきましたが、会報送付と総会案内を同時に行なう方法が経費削減になるため、記事内容は一年遅れと古くなりますが、現行通りの発行に決定しました。

昭和六十二年四月～昭和六十三年三月までの同窓会費収支決算は上記のとおり承認されました。ご不明な点がありましたら、会計の方までご連絡下さい。

昭和六十二年年度総会議題において、いまだ未納となつています同窓会終身会費の件は、今後も會員の皆様一人々に納入のお願いをすることに意見が一致いたしました。皆様の暖かいご協力を期待してあります。

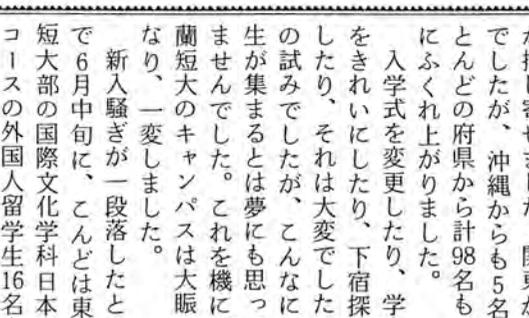
今年度も個々に未納額をお知らせ致します。郵便振替にて納入をお願いいたします。

振替用紙には必ず會員番号を書き入れて下さい。(會員番号は封筒の表面下に記載してあります)

昨年十一月に同窓会バザーを開催し、三回目を迎え同窓生多数の御協力をいただき、沢山の手作り品が集まりました。

今回は「お姉さんの店」としてロビーで、華々しく行ないました。日曜日だったせいもあり、子供連れの人が多くおとすれました。

作品は、子供服・エプロン・袋物・紙ねんどで作った置物など、素晴らしい作品の数々、なかでも袋物に人気があり、まとめて、いくつも買って下さる方もいました。売り上げは総額約四万円で利益は前回同様、約二万円になりました。



文化女子大学 夏期集中講義の参加学生達

「北海道にきて本当によかった。人のやさしさにふれたことが一番印象的でした。寮の人も道行く人もみんな助けてくれたり親切にしてくれました。どうしてこんなに親切なのですか、と聞いたら、当たり前のことだよ、といわれ、ああ、すごく大切なものを忘れていたような気がする。北海道は土地と同じように心も広い。」これは、彼女たちが残っていた感想文の一部です。

昭和62年度

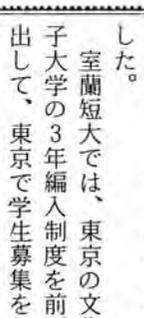
総会報告

小さな輪から大きな輪へ

また、学校の様子など知りたいので、写真を多く載せてほしいとの要望が出されました。

二、常任委員会について
定例委員会を開いても役員が集まりが悪く、いつも同じメンバーとなるため、最近役員会を招集しないで活動している状況です。

昭和63年度総会はお休み
今年度の総会は決定事項その他がありませんのでお休みします。総会、懇親会への出席者が少なく、毎回さみしい総会になっております。来年は開校20周年にあたり、同窓会でも、常任委員会でも、何か新しい企画を考えてみたいと思います。仕事、子育てに、お互い大変な毎日を送っていることと思いますが、友達同志のつながりを持ち、同窓会活動にご協力下さいませ、お願い致します。



文化女子大学国際文化学科留学生 白秀英さんのキリ絵「自画像」

室蘭短大では、東京の文化女子大学の3年編入制度を前面に出して、東京で学生募集をしましたところ、予想以上の新入生が押し寄せました。関東が中心でしたが、沖縄からも5名、ほとんどの府県から計98名もの数にふくれ上がりました。

入学式を変更したり、学生寮をきれいにしたり、下宿探しをしたり、それは大変でした。初短大の先生の方が大変で、お疲れだったと思います。

学生たちは、土、日曜日を利用して、函館・札幌方面をはじめ旭川、富良野、日高方面にまで足をのばして、夏の北海道を満喫して



題字 北浦 晃氏

第5号
発行
昭和63年10月15日
発行所
文化女子大学室蘭短期大学同窓会
室蘭市高砂町3丁目11-50
印刷所
富士印刷株式会社

況です。そこで、総会に出席できない人の意見が反映できるように同封はがきに一言コーナーを設けたらというアイデアが出されました。同窓会に対する御意見・御要望、会報の記事となる文章・詩など通信欄に御記入の上、返送をお願い致します。

夏の北海道

大自然で心の洗たくを

昭和64年の室蘭短大は、東京の文化女子大での受験による新入生を迎えたり、また外国人留学生の研修を受け入れられたり、さらに夏期集中講義を引き受けたりで、テンヤワンの大忙しでした。

室蘭短大では、東京の文化女子大学の3年編入制度を前面に出して、東京で学生募集をしましたところ、予想以上の新入生が押し寄せました。関東が中心でしたが、沖縄からも5名、ほとんどの府県から計98名もの数にふくれ上がりました。

入学式を変更したり、学生寮をきれいにしたり、下宿探しをしたり、それは大変でした。初短大の先生の方が大変で、お疲れだったと思います。

学生たちは、土、日曜日を利用して、函館・札幌方面をはじめ旭川、富良野、日高方面にまで足をのばして、夏の北海道を満喫して

対談シリーズ

四季のうつり変わり

室蘭の印象あれこれ

今年、道外からの学生が多く入学し、また新しい流れが文短にやってきました。今日は広木香織さん、中野由美子さん、青田京子さん(道外出身)、白井直美さん、外崎幸乃さん(地元出身)の学生さんとお話する機会がありましたので室蘭の印象その他を聞いてみました。

デリカシイがないという事にもなるのだが、腹の中にいちもつを残さない所が良い。

— 全体として室蘭の印象は —
自然が多く、空気、たべものがおいしい。また道路の幅も広く、物価が安く、特に野菜などが安い海がありすてきだ。また人的面でもやさしい、おおらかである。初対面でもすぐ親しくなれる……などの印象が多かったです。

— 北海道を選んだ理由は —
北海道だからそ来たかった。他の県だったら多分こなかっただろう。又、自分のやりたい学科があったからとのこと。

— 北海道の学生は —
北海道の方言にも少しづつ慣れて来てくれた。道外の人々は皆、あかぬけている様に見えるが話せば皆同じに思われる。いろいろと刺激になって良い。北海道の良さ

— 室蘭でこういう事をやって来たと言えようになつて帰りたい。何かをつかんでいきたいと、たのもしい!

— これからについて —
心配する事はなく、とても暮しやすい。気候もいいし、冬が楽しい。みんな今年からスキーをはじめたこと。北海道の冬を十分楽しむつもりらしい。

— 学校での印象は —
人数が少数なのでアットホームな所が良い。先生とも親しく名前など覚えてもらえる所も良い。来る前に考えていた事とのギャップはないか。

— 室蘭でこういふ事をやって来たと言えようになつて帰りたい。

— 室蘭でこういふ事をやって来たと言えようになつて帰りたい。

— 室蘭でこういふ事をやって来たと言えようになつて帰りたい。

附属幼稚園 一泊保育

保育科 13 期生

市原 祥子(旧木村)

— 北海道の学生と本州の学生の氣質の違いは —
北海道は、ものをはっきりと言葉が強い。悪い意味では刺戟になって良い。北海道の良さ

— 北海道の学生は —
北海道の方言にも少しづつ慣れて来てくれた。道外の人々は皆、あかぬけている様に見えるが話せば皆同じに思われる。いろいろと刺激になって良い。北海道の良さ

— 室蘭でこういふ事をやって来たと言えようになつて帰りたい。

— 室蘭でこういふ事をやって来たと言えようになつて帰りたい。

— 室蘭でこういふ事をやって来たと言えようになつて帰りたい。

— 室蘭でこういふ事をやって来たと言えようになつて帰りたい。

短大時代の思い出

保育科 4 期生

笹沼 麗子(旧松岡)

みなさん、お元気ですか?

— 自治会に入ったこともあり、昼、夜、となくよく集まり、いろんなことを話したことが、本当に



— 自治会に入ったこともあり、昼、夜、となくよく集まり、いろんなことを話したことが、本当に



広木香織さん



下沢和枝会長



青田京子さん



中野由美子さん



外崎幸乃さん



白井直美さん

毎年、一学期の終わりに年長児のみの参加、一泊保育という行事があります。その名の通り幼稚園で友達と一緒に一日を過ごすのです。たかが一泊ですが、子供達にとっては一世一代の大事事、親元から離れ不安な気持ちを隠しながら一泊保育のスタートを切るのでした。



— 自治会に入ったこともあり、昼、夜、となくよく集まり、いろんなことを話したことが、本当に

— 自治会に入ったこともあり、昼、夜、となくよく集まり、いろんなことを話したことが、本当に

— 自治会に入ったこともあり、昼、夜、となくよく集まり、いろんなことを話したことが、本当に

編集後記

今年もまた秋がやってきました。年に一度、紙面でみな様にお逢いできる事を楽しみにしている我々ですが、生みの苦しみとでも言いますが、人手不足、また能力の不足を感じたしております。企画についてもマンネリ化を打破したいと思っておりますが、なかなか名案もありません。また今回の発送となりました。ひとときのなつかしさだけでも得られたら幸いです。みな様のご協力を待っています。(下沢)